

株式会社 京都銀行

京都市下京区烏丸通松原上る
郵便番号600-8652

独立行政法人 日本高速道路保有・債務返済機構が発行する
「ソーシャルボンド」への投資について



京都銀行（頭取 安井 幹也）は、独立行政法人 日本高速道路保有・債務返済機構が発行するソーシャルボンドへの投資を実施しましたのでお知らせいたします。

ソーシャルボンドは、社会的課題の解決に資するプロジェクト（ソーシャルプロジェクト）に資金用途を限定して発行される債券です。

同社は2022年2月に「ソーシャルファイナンス・フレームワーク」を策定し、格付投資情報センター（R&I）から、国際資本市場協会（ICMA）が定義する「ソーシャルボンド原則2021」、「ソーシャルローン原則」および金融庁が定義する「ソーシャルボンド・ガイドライン」に適合する旨のセカンドオピニオンを取得しています。

本債券発行による調達資金は、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献する高速道路建設等事業に充当されます。

当行では、今後もこのような事業活動を通じて環境・社会・経済の課題解決に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

記

<本債券の概要>

Table with 2 columns: Title, Term, Issuance Amount, Issuance Date, and Use of Proceeds. The use of proceeds includes highway construction, new roads, and maintenance.

以上

京都銀行グループでは、従来から「地域社会の繁栄に奉仕する」という経営理念に基づいた企業活動を行ってまいりました。今後も経営理念のより一層高いレベルでの実践であるSDGs達成に向け、地域の社会課題の解決に貢献してまいります。なお、関連するプレスリリースにその目標であるSDGsのアイコンを明示しております。

【SDGs】2015年9月に国連で採択された、経済・社会・環境のあり方についての2030年までの世界共通目標。17のゴールと169のターゲットで構成されている。

